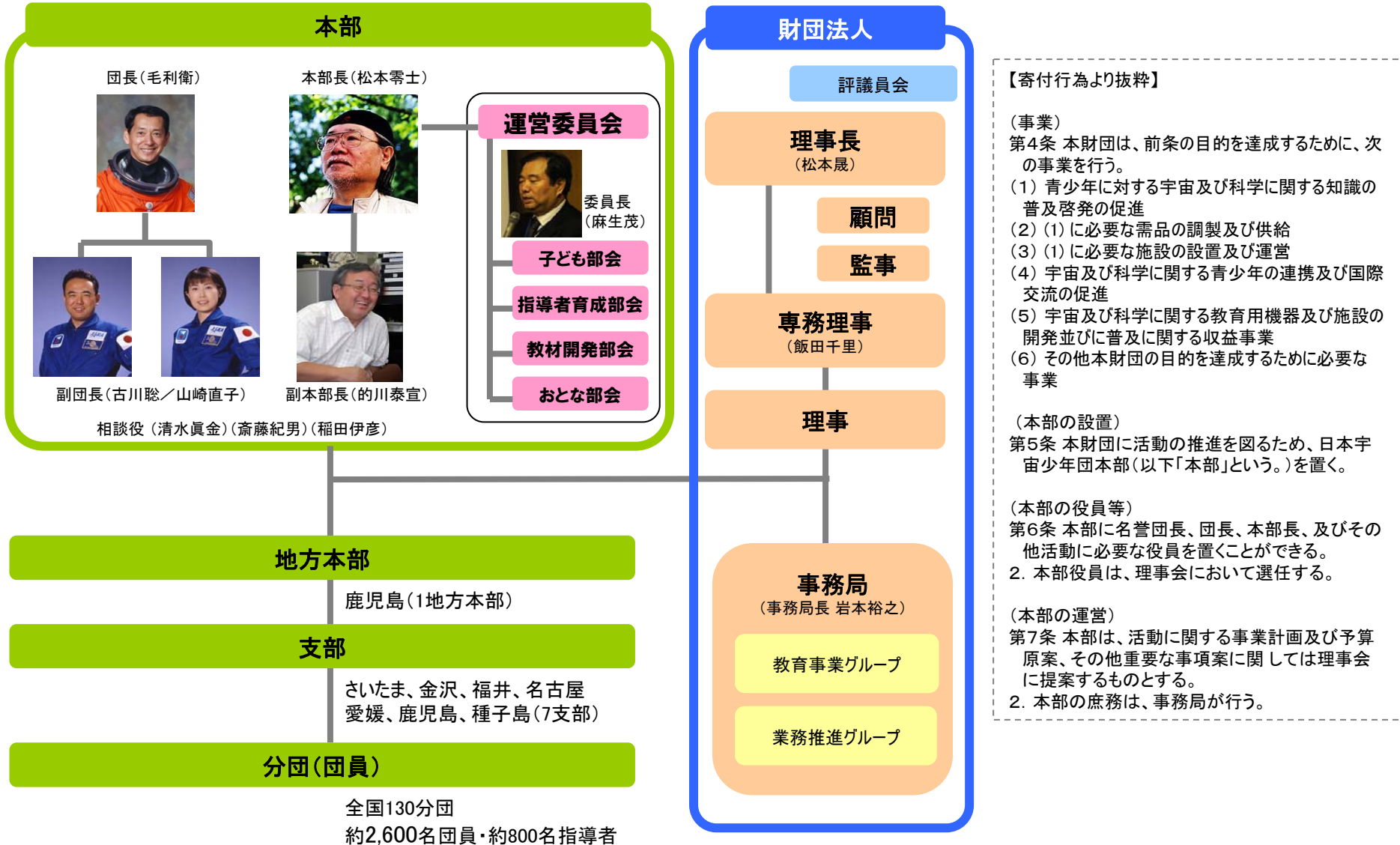


# 平成22年度の活動に係る 事務局からの報告

平成22年1月23日

日本宇宙少年団  
本部事務局

# 1. 平成22年度に向けた体制について



## 2. JAXA × YAC × KU-MAによる宇宙教育の推進



### 3. 分団活動への助成金について

1. 今年度はYAC本部の財政状態から、例年通りの助成金額を確保することが困難であり、YAC本部では、JAXA宇宙教育センターに YAC本部の助成金制度に変わる、分団でも利用できるJAXAの支援制度についてお願いした。

この支援制度について、YAC本部の助成金助成金に変わる実践活動支援制度をつくり、各分団においても、このSEL実践活動支援制度を活用し、今年度の分団運営費を確保をお願いした。

2. 昨年からのSEL実践活動支援制度の大きな変化として、応募者を個人のみとしていたものを 連名応募を可能として、最大の支援金額が20万円となった。

3. 平成22年度も、同様の制度で、JAXAで実践活動支援制度を発表する予定。

4. SEL実践活動支援制度の活用にあたっては、宇宙教育指導者セミナーの修了が必要となるため、修了されているリーダーがいらっしゃらない分団においては、宇宙教育指導者セミナーを受講いただくか、DVDや、インターネットでのセミナーを受講いただきたい。

5. YAC本部では各分団のSEL実践活動支援制度の申請について、審査の前にご提出いただいた応募用紙を確認する等、今後もお手伝いをさせていただきたい。

## 4. 分団活動への保険の付保について

### <現状>

本部では、分団活動中の事故等に備えて、保険に加入している。以前は保険の対象を団員及び指導員に限定していたが、分団からの要望を受け、平成21年度より、団員ではない参加者(団員の保護者、団員ではない参加者)も保険の対象とすることとした。

### <課題>

今年度の分団活動参加者数は、これまでのところ16,657名であり、内9,915名が団員以外の参加者であった。(次頁参照)

保険の掛け金は、団員の年会費等を財源に付保を行っており、実質、団員が非団員の保険も大きく負担することとなった。

### <平成22年1月以降の対応>

保険付保の適正化のため、今後、団員以外の参加者の保険の掛け金については、別途、徴収することとしたい。

### <徴収方法>

団員以外の参加者については、活動の都度、ひとり20円の掛け金を集めていただき、分団長会議の際に前年の1月から12月分の掛け金をお持ちいただく。

掛け金の金額は、20円×団員以外の参加者数(本部に報告のあった人数)とする。

## 2009年度(平成21年度) 日本宇宙少年団 分団活動参加人数

日帰り活動 月別内訳(宿泊活動は内訳に含まず)

上期	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期計	
	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他
活動人数	754	492	816	1,419	1,038	661	1,265	3,214	488	723	551	474	4,912	6,983
合計	1,246		2,235		1,699		4,479		1,211		1,025		11,895	

下期	10月		11月		12月		1月		2月		3月		下期計	
	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他	分団員	その他
活動人数	656	1,597	600	880	509	414	65	41	0	0	0	0	1,830	2,932
合計	2,253		1,480		923		106		0		0		4,762	

16,657

宿泊活動合計		日帰り活動合計	
分団員	その他	分団員	その他
483	177	6,742	9,915
660		16,657	

2009年度総計	
分団員	その他
7,225	10,092
17,317	

# 5. YACホームページについて

YAC新ホームページについては、平成18年10月より運用を開始しているが、引き続き、各分団には、活動計画・活動報告等の入力をお願いしたい。

1. 毎月の分団活動計画・報告
2. マイページでのプロフィールのアップデート

※HPの改修は、3月に予定

